

ネットワーク通信

発行：JAL争議支援全国ネットワーク事務局
連絡先 E-mail: Tokyo_renranku@fight.chips.jp

11・27 第3回品川駅統一宣伝行動

11月27日、品川駅港南口にて「東京連絡会」主催の統一宣伝行動が行われました。昨年11月に行われた第1回目から、今回で第3回目となりました。回数を重ねるごとに参加者の数も増え、運動の広がりを感じています。

参加する労働組合と支援団体が前回よりも増えて、JAL争議争議団にとって励ましとなり、一日も早い争議の解決へ向けて大きな力となりました。

主催者挨拶（新宿一般労組 鈴木等さん）



JALは昨年1月に羽田空港で海上保安庁機と衝突事故を起こしました。その後、駐機場での接触事故、停止線のオーバーランなどを起こし、鳥取社長は、就任早々から国交省に呼び出されて「厳重注意」を受けましたが、今年は飲酒問題でさらに「厳重注意」を受けました。JALは飲酒の原因を個人の責任にして厳罰で対応するのではなく、労働環境を改めるべき。「空の安全」はパイロット・客室乗務員・整備士等、現場の労働者が一体となって守っています。「空の安全を守るためにも」JAL争議への支援を心から訴えます。

労働団体や地域労組・支援者からの連帯の挨拶が、6名の方々よりありました。

- | | | |
|-------------|-------------|------------------|
| ◆文京区労連の鈴木さん | ◆東部全労協の山口さん | ◆世田谷区労連の星野さん |
| ◆南部連絡会の伴さん | ◆東京地評の久保さん | ◆JMITU 太田支部の広瀬さん |

ご参加の皆様ありがとうございました！



(品川駅・港南口デッキ)



(平井書記次長の訴え)

12・3JAL 本社宣伝・要請行動(主催・全労連・東京地評争議支援行動)

12月3日に全労連・東京地評の主催で、争議支援総行動が開催されました。JALに対しても、訴えと要請行動を行いました。要請に対しては、相変わらずの不誠実な対応に終始し怒りがわいてきました。



12. 9 JAL本社大包囲行動

12月9日にJAL本社大包囲行動を行いました。昨年よりも多くの支援の人々が、全国から参加して下さいました。

冒頭、高松JAL争議支援全国ネットワーク共同代表・山口JAL被解雇者労働組合委員長から主催者挨拶がありました。



主催者挨拶

◆高松JAL争議支援全国ネットワーク共同代表

全国の力を一つにして、JAL闘争を支援者の皆さんと共に勝ち取っていきたい。改めて、JALは社会的責任を果たせと言いたい、一日も早い解決に向けて全国的に支援を広めていきたい。そして労働運動の再生を願っている。

◆山口被解雇者労働組合委員長

この闘いも15年が経過しました。常に悔しさや怒りを持って生活してきました。この間同志を失いましたが、遺志を受け継ぎ勝利を目指したい。「空の安全」を考えたとき、今の経営陣は失格です。安全のトラブル・飲酒問題等何一つ解決できていません。

議員の皆様からの連帯挨拶

◆福田昭夫衆議院議員(立憲民主党)

日本を代表する会社として、15年も経っても解決できないことは恥すべき行為です。世界の航空会社とは言えません。解決する姿勢が見えないのはなぜでしょうか。社長が他の経営陣の悪い影響を受けているのではないか。社長としての正しい判断で、部下を指導できるように願いたい。

◆堀川あきこ衆議院議員(日本共産党)

国土交通委員会に所属しているが、15年前のJAL争議を解決できないことは許しがたい行為です。いかなる理由でも解雇は不当です。「空の安全」を守る企業として失格です。もの言う労働者を排除した行為も不当です。国土交通省の内部でもパワハラ行為が問題となっています。

◆ラサール石井参議院議員(社会民主党)

15年前のこの日に、解雇通知書を受けた165名の労働者の気持ちは、どれほど悔しい思いと怒りがあったことだと思います。「空の安全を」守る会社なのか。労働者の「雇用とくらし」を守ることが会社の使命です。

◆玉造順一県議会議員(立憲民主党)「茨城の会」議員連絡会代表

自治体議員で作っている組織、住民のくらしの安全を守ることを超党派で組織し活動しています。

昨日は、日米開戦の日でした。正論が言えない時代であった。そして不幸な結果になりました。

JAL争議団の皆様のように会社の中で正しいことを主張してきたことに共感しています。

◆篠田奈保子衆議院議員(立憲民主党)

弁護士として、働く人たちの権利を守る活動をしてきました。JAL争議団の人が釧路に来られ、私たちも頑張って支援をしていきたいと思いました。声を上げるのに、大変な世の中ですが、労働者の立場を守るために、最後の最後まで共に闘っていきたい。

◆メッセージ

もとむら伸子衆議院議員(日本共産党)

大石あきこ衆議院議員(れいわ新選組)(メッセージ代読:高橋まゆみ足立区議会議員)

杉山あつし静岡県議会議員も参加されていました。(紹介のみ)

全国でJAL争議を支援する仲間(団体)からの連帯挨拶

◆不当解雇と闘う日本航空労働者を支える釧路・根室の会(横田厚さん)

国労闘争も多くの支援者に支えられてきた。支援者の力が大きくなればJAL争議を解決できる。

◆JAL争議団を支援する熊谷の会 代表(河井好一さん)

街で訴え、「空の安全」を守るのは職場労働者の声です。JRの尼崎事故のようにならないように。

◆JAL争議を支援するかながわの連絡会(宮垣忠さん)

神奈川で、11月15日に「公共交通の安全・平和・人権を考える」の集会の報告です。JAL争議団の近村さんからは、政情不安定な国の付近をフライトする時の危険性を訴えていました。

2025年12月 (NO.6)

◆静岡県共闘会議 三島ふれあいユニオン委員長(堀考信さん)

組合潰しをしてきたことは許されない。ユニオンでもパワハラの相談で、団交を重ねてきましたが、9月に突然事業閉鎖となりました。このような理不尽な社会を変えていきましょう。

◆不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える愛知の会 事務局(尾崎俊介さん)

「愛知の会」は、2012年に結成し、月一回の行動をしてきました。争議が15年も解決できないことは、許すことはできません。利益優先の企業体質を変えていかなければなりません。

◆JAL闘争を支える京都の会 事務局長(駒井高之さん)

月一回の行動は、元JAL会長の稻盛氏自宅の近くで行っています。JALだけの問題ではない。都労委命令が来年1月に出されるようだが、闘いの力を緩めてはいけません。

◆JAL闘争を支援する徳島の会幹事 自治労徳島県本部(松岡嘉征さん)

娘との参加です。ナショナルセンターの枠を超えて、2013年に結成し署名活動・街頭宣伝等を行っています。15年前の大みそかに解雇したことは、信じがたい行為です。組合活動をしている人の排除です。「権利と人権を守る闘い」を支援することは言うまでもないことです。

◆北九州争議団共闘会議事務局長(道下哲也さん)

900kmをスターフライヤーで飛んできました。隣のスポットでJAL機が修理をしていて、3時間遅れていることでした。JAL機は大丈夫でしょうか。小倉で月一回の行動をしていますが、もっと拡大していかなくてはいけません。鳥取社長、あなたも昔は労働者であった筈、早期解決を。

◆小名浜地区労議長(田久祐一郎さん)

全港湾の労働者です。初めての参加です。先月JAL争議団の方々来られて「生の声」聞いて、不当労働行為は許せない。地区労としても支援をしていきたいと参加しました。15年は長い闘いです。私たちの、福島の原発事故後の様々な行動と、共通点があると感じています。ほぼ同年月の闘いです。解決するまで共に頑張りましょう。

◆国労高崎地区本部 委員長(諏訪哲也さん)

新幹線の分離事故、職場では7割が組合に未加入です。キチンとものが言える労働者がいません。会社のおごり・油断があります。「安全確保」するためには、職場にものが言える労働者の存在が必要です。共に頑張りましょう。

◆山形・米沢地区平和運動センター(堀内勉さん)の参加もありました。

JAL争議団の近村乗員団長の決意表明

日本航空の体質を改めさせ、人権侵害を許さない、空の安全を守らせ、誰もが安心して暮らせる社会を目指し皆さんと一緒に闘っていきます。

客乗争議団 鈴木団長のシュプレヒコール・団結ガンバロー！

大熊啓さんのギター伴奏で「頑張ろう」の歌を参加者で合唱して終了しました。

大包囲行動に参加された方々と共に、「ますます広まりゆく団結」を感じました。

多くの皆様のご参加ありがとうございました！



(JAL 本社前)

(JAL 本社前広場)

お知らせ

◆2026年2月13日(金)18時～ 文京区民センター(3A会議室)

◆JAL 争議をどうやって勝利していくのか？争議団員・支援者・弁護士との意思統一を図る場の集会を企画しています。

※2026年1月15日(木)10時に都労委命令が発出されます。どのような内容にも対応出来る準備を進めていきたいと思います。